

おばらっち流！
スワップ運用の極意

スワップとは？

- スワップとは預金でいう利息のよ
うなもの
- FXでは通貨と通貨の金利差のこと
をいう

スワップとは？

- 外貨預金の利息の場合
 - 豪ドルを外貨預金すると、豪ドルの金利が受け取れる
- スワップの場合
 - 豪ドル円を買うと、豪ドルの金利から円の金利を引いた分の金利が受け取れる

FXでの2種類の利益の上げ方

1. キャピタルゲイン

2. インカムゲイン

キャピタルゲインとは

- 投資対象を売買することで得られる利益のこと
- 株の場合
 - 投資資金で購入した株式を売却することで得られる利益
- FXの場合
 - 投資資金で購入した通貨ペアを決済することで得られる利益

インカムゲインとは

- 投資対象を保有していることで得られる二次的な利益のこと
- 株の場合
 - 配当
- FXの場合
 - スワップ

インカムゲインのメリット、デメリット

- メリット
 - 投資商品の価格変動に関係なく発生する
- デメリット
 - 投資商品の価格変動によっては大きな損失となる場合もある

外貨預金とFXによる投資の違い

- 外貨預金の場合

1. 運用に必要な資金

- 預金する外貨と同額になる金額

2. メリット

- 預金した外貨の価格が0にならない限り保持が可能
- 預金した外貨の金利がそのまま受け取れる

3. デメリット

- 定期預金になる場合が多く資金を自由に動かしにくい
- ペイオフの対象外

外貨預金とFXによる投資の違い

• FXの場合

1. 運用に必要な資金

- ・証拠金取引のため資金の25倍までの取引が可能(レバレッジ)。

2. メリット

- ・レバレッジにより資金の運用効率が高められる
- ・スワップは毎日積算され、それを資金にした取引が可能
- ・信託保全による預託金の保護

3. デメリット

- ・証拠金取引のため取引した通貨ペアの価格変動によってはロスカットされることもある
- ・スワップは取引した通貨ペアの金利差となる
 - 日本の政策金利が上昇すると外貨預金よりも金利が低くなる可能性
 - ※マイナス金利政策により現在はデメリットにはならない

外貨預金ではなくスワップ狙いの 投資を行う理由

- マイナス金利政策により円を売って外貨を購入する取引なら外貨預金とほぼ同じ金利が受け取れる
- レバレッジを有効活用することで資金効率があげられる
- いつでも決済できるので状況に合わせて資金を有効活用できる
- ペイオフ対象外の外貨預金と違い預託金が信託保全で保護されておりより安全

FX取引によるスワップ目的の 投資を行う際のリスク要因

- 金利の変動による利益の減少
- 価格の下落による損失
- どのタイミングで入ればよいのかわからない
等々

不安材料を探し始めればきりが無いため怖くて
実行できない

そこで→

過去にないほどの下落があった場合に発生する損失は受け入れる

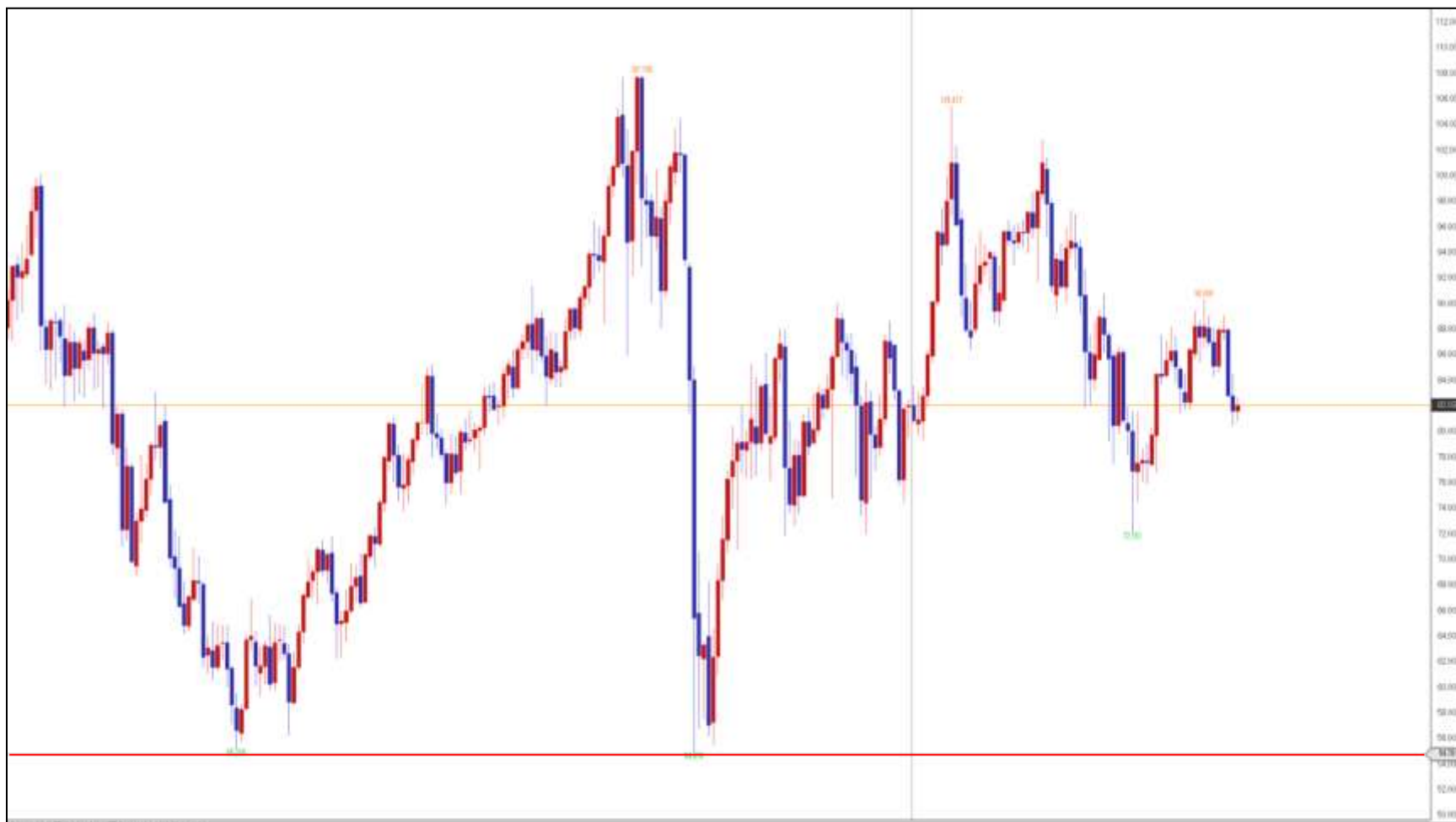


その場合に発生する損失を自分の許容範囲に収めることで他のリスク要因の影響を取り除く

豪ドル円での投資例

- 前提条件
 - 過去の最低価格は約55円なのでやや余裕をもって54円よりも価格が下がった場合はポジションを手仕舞いする。
 - 30万円までの損失は受け入れる
 - ポジション数は資金と損失許容金額との兼ね合いで決定する(資金が少ない場合はその資金を許容損失額としてポジション数を決める)

豪ドル円月足チャート



豪ドル円での投資例

- 80円で購入する場合
 - 54円までの価格差は26円。
 - 損失を30万以内に抑えるために持てるポジションは11000通貨以内(1000通貨で1銭(1pips)が10円)
 - 54円にストップロスを置きそれを下回って損切りされるまでは原則的に放置する

この方法の特徴

- リスクを損失額に絞っているためポジションを持つタイミングは自由(持ちたい時の持って良い)
- 損失額を決めているため価格の下落も気にする必要がない
- レバレッジも考慮する必要がない(ポジションを維持できる証拠金以上を残しておけば後は自分の都合に合わせてレバレッジをコントロールして良い)
- 超長期で持つ前提であるため金利の変動にもそれほど神経質になる必要がない(金利差がマイナスにならない限り持っていれば利益は上がる)

少し高度な考え方

- 資金的に余裕があり、損失許容額も大きめにとれる場合はポジションを分割して持っても良い
 - 80円でポジションを持ちたいがトレンドは下降している場合などではポジションを許容数の半分にして、更に価格が下がった際に残り半分を追加する
 - 損失許容額内で持てるポジション数を多くすることが出来る可能性がある

損失額を限定しての投資のポイント

- 長期預金より効率が良いという事はその分ある程度リスクは発生する
 - 少しでもリスクを取りたくないという人には向きません
- 今回説明した考え方はリスクを損失許容額のみにとりこむことでリスク管理を単純化し誰にでも取り組みやすくしています
 - 慣れてきたらより積極的にリスクを管理することより効率の良い投資に取り組んでも良いです

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562